

島根県におけるズグロチャキンチョウ *Emberiza melanocephala* の初記録

安 食 一 歩*

The first record of Black-headed Bunting *Emberiza melanocephala* at Shimane prefecture

Kazuho Anjiki

ズグロチャキンチョウ *Emberiza melanocephala* はユーラシア大陸西部に生息するスズメ目ホオジロ科の小鳥で、日本では日本海側の島嶼や南西諸島を通過する稀な旅鳥であるとされている(真木ほか, 2014)。2019年4月30日、島根県出雲市において本種のオス1羽を観察した(図1)。島根県において本種の確実な記録はなく、本記録は貴重であると考えられるため報告する。

観察されたのは島根県出雲市大社町の標高約30mの地点であるが、詳細な地点は保護上の観点から記載しない。観察地点の環境は、周辺を雑木林で囲まれたイネ科植物が刈り取られた場所であった。当該個体はアオジ *Emberiza spodocephala*、ホオジロ *Emberiza cioides* とともに地面で採餌しており、植物の種子を啄んでいるようだった。本種のオスの特徴は、真木ほか(2014)によると、頭部が黒色で体下面は黄色く、後頸から体上面は赤茶色であるとされている。筆者が観察した当該個体は、これらの特徴が確認されたためズグロチャキンチョウのオスと同定した。当該個体の観察は10倍双眼鏡を用い、撮影は一眼デジタルカメラに500mmレンズを装着して行った。

本種が本土の日本海側を渡りのために通過している可能性があるため、今後の動向に注目したい。

最後に、本報告をまとめるにあたり島根県内での記録を提供頂いた井山明氏、森茂晃氏、有益な助言を頂いた三瓶自然館スタッフの方々に厚くお礼申し上げます。



図1 出雲市大社町で観察されたズグロチャキンチョウ雄。

引用文献

真木広造・大西敏一・五百澤日丸(2014) 決定版 日本の野鳥 650, pp.711. 株式会社平凡社, 東京。

* 島根大学, 〒690-8504 島根県松江市西川津町 1060

Shimane University, 1060, Nishikawatsu-cho, Matsue, Shimane, 690-8504, Japan